

2019年4月／9月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9題のうち2題を選択すること。
4. 少なくとも1題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答えは二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. 試験開始の合図後、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					↑			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の1000字のマス内（グラフまたは図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。

以 上

2019年4月／9月 大学院商学研究科
修士課程入学試験問題 専門科目

[注意]

- ① 選択した問題番号を解答用紙左上の指定された□内に記入のこと。
- ② 選択した問題をあらためて書く必要はない。
- ③ 答えは日本語で横書きのこと。
- ④ 答えは1,000字のマスの内（グラフ、図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。
- ⑤ 答えは解答用紙の表面にだけ書くこと。

[設問1] 経営専修 経営領域

下記の全ての問題に回答せよ。

1. 企業において経営者が持続的競争優位の源泉となり得る理由をVRIOフレームワークのV、R、Iのそれぞれの観点から説明せよ。
2. 機能別（職能別）組織と事業部制組織とは何か。それぞれを説明せよ。また、一般的に、多角化戦略を行う企業は、機能別（職能別）組織と比較して事業部制組織のほうが高い業績を上げるとされているが、その理由を経営者の意思決定に関する観点から説明せよ。
3. ある事業部制組織を採用する企業が、各事業部長の業務へのモチベーションを向上させるために、事業部長の給与が各々の担当する事業部の財務的パフォーマンスにより完全に決定される報酬体系を導入したとしよう。期待理論と多角化戦略に基づき、この報酬体系の結果として起こりうる企業にとって望ましい結果と望ましくない結果をひとつずつ論ぜよ。

[設問2] マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の全ての設問に答えなさい。

- (1) 上澄み吸収価格戦略について、例を用いて説明しなさい。
- (2) 製品ライフサイクルの考え方と問題点について説明しなさい。
- (3) 開放的、選択的、排他的という3つのチャンネル政策の相違について、簡潔に説明しなさい。

【設問 3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

国際ビジネスにおいて国際物流は不可欠な要素となっているが、その国際物流を支える一業態として、フレイト・フォワーダー (freight forwarder) の存在があげられる。フレイト・フォワーダーと国際物流, 特に国際複合一貫輸送 (International Multimodal Transport) の関係について詳しく論じなさい。

【設問 4】 金融・保険専修 金融領域

債券市場の代表として国債市場について問う。以下の 3 問すべてに解答しなさい。

- (1) 残存期間 3 年の国債を購入した投資家にとっての最終利回りを求める式を、以下の記号を使って示しなさい。そして、その式に基づいて、最終利回りが何を意味するのか言葉で説明しなさい。

最終利回り = i 、購入時の国債価格 = P 、各年の金利受取額 = R 、国債の額面価格 = P_f

(注：金利支払いは年 1 回とする)

- (2) 国債価格の変動と国債金利の変動はどのような関係にあるか説明しなさい。なお、国債価格は発行後に市場で取引される価格であり、国債金利は国債の市場金利のことであり最終利回りと同じものである。
- (3) 金利上昇局面では、国債に投資する年金基金などの機関投資家は満期構成 (平均の残存期間) を短期化するが、それはなぜか説明しなさい。

【設問 5】 金融・保険専修 保険領域

以下のすべての質問に答えなさい。なお、回答は、日本の制度についての説明でもよいし、日本以外の国の制度についての説明でもよい。

- (1) 保険事業については、種々の規制がなされ、国家の監督のもとで運営されている。保険事業について規制・監督が必要である理由を説明しなさい。
- (2) 保険に加入する際に課される告知義務について、その内容となぜそのような義務が課されるかを説明しなさい。

【設問 6】 会計専修 財務会計領域

以下のすべての質問に答えなさい。

- (1) 企業結合に関連して生ずる特別損益項目について説明しなさい。
- (2) ソフトウェアの会計処理について説明しなさい。

【設問 7】 会計専修 管理会計領域

責任センターに関する以下の各問いのすべてに回答しなさい。

- (1) A 社は組織形態として職能別組織を採用している。同社は単一の家電製品を製造する企業であり、製品の製造を担当する製造部、販売を担当する販売部のほか、総務、経理、人事、情報などのスタッフ部門で構成されている。
 - ① 製造部をコストセンターとして、販売部をレベニューセンターとして業績管理をおこなう場合の問題点を論じなさい。
 - ② A 社では、製造部と販売部をプロフィットセンター化するために、内部振替価格の利用を検討している。内部振替価格の設定基準である、「交渉力基準」、「原価基準」、および「市価基準」のそれぞれについて、概要と問題点を論じなさい。
- (2) B 社は組織形態として事業部制組織を採用しており、事業部 X と事業部 Y の 2 つの事業部で構成されている。事業部 X は、外部から購入した材料を加工して部品 α を製造している。部品 α は外部への販売はせず、内部振替価格を用いて事業部 Y へ供給するのみである。事業部 Y は、事業部 X から届いた部品 α に、外部から購入した材料を追加して加工し、最終製品 β を製造している。事業部 X および事業部 Y はインベストメントセンターとして業績管理がおこなわれている。
 - ① インベストメントセンターの評価基準である、ROI と RI について、それぞれその概要を説明しなさい。説明に際して、「資本コスト」という用語を用いること。
 - ② 資本コストのうち、加重平均資本コスト(WACC)について説明しなさい。
 - ③ B 社では、工場設備の拡張を検討している。拡張をおこなうと、事業部 X および全社の ROI は上昇する一方で、事業部 Y の ROI は下落すると予想されている。経営者のおこなうべき意思決定を論じなさい。

【設問 8】 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下のすべての質問に答えなさい。

- 1) 次の効用関数を考える。

$$U = X^{\frac{1}{3}}Y^{\frac{2}{3}}$$

ここで X , Y は財の量、 U は効用をあらわす。また、 X 財の価格 $P_X = 3$ 、 Y 財の価格 $P_Y = 6$ とする。この消費者の所得を I とするときに、この消費者の X 財、 Y 財の需要を求めよ。また、この消費者の所得消費曲線を求め、グラフで表すこと。

- 2) 次の効用関数を考える。

$$U = X + Y$$

ここで X , Y は財の量、 U は効用をあらわす。また、 X 財の価格 $P_X = 3$ 、 Y 財の価格 $P_Y = 6$ とする。この消費者の所得を I とするときに、この消費者の X 財、 Y 財の需要を求めよ。また、この消費者の所得消費曲線を求め、グラフで表すこと。

- 3) 2) の状況から X 財の価格が上昇し $P_X = 9$ となったとする。この時の消費行動の変化をグラフを用いて説明せよ。その際に、所得効果、代替効果について言及すること。

【設問 9】 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下のすべての質問に答えなさい。

- 1) ケインズ派の貨幣需要関数についてグラフをもちいて説明せよ。
- 2) 貨幣数量説について説明せよ。その際に、ケンブリッジ方程式、フィッシャーの交換方程式および古典派の二分法について言及すること。
- 3) ハイパワードマネーとマネーサプライの関係を説明せよ。

以上

